

事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされておりますので、保護者様・来訪者様等の
閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

東京都福祉サービス第三者評価(2023年度) 評価結果報告書

2024年3月12日

株式会社アイ・エス・シー
ウィズブック保育園荏原

御中

〒160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号

機構 03 -

081

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 中込 重秋



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野	
	①	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	②	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	③	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	④	H1001023	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑤		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	ウィズブック保育園荏原			
事業所連絡先	〒	142-0063		
	所在地	東京都品川区荏原6-12-15		
	TEL	03-6451-3480		
事業所代表者氏名	光永 正美			
契約日	2023年	8月	1日	
利用者調査票配布日(実施日)	2023年	10月	16日	
利用者調査結果報告日	2024年	1月	16日	
自己評価の調査票配布日	2023年	10月	3日	
自己評価結果報告日	2024年	1月	16日	
訪問調査日	2024年	1月	22日	
評価合議日	2024年	1月	22日	
コメント (利用者調査・事業評価の 工夫点、補助者・専門家等 の活用、第三者性確保の ための措置などを記入)	・利用者調査は共通評価項目及び事業所と協議のうえ設けた独自質問により、インターネットでのウェブアンケート形態で実施した。また調査開始時に書面・ポスターの 配信や配付・掲示等で保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と提出進 進を兼ねたチラシの配信・配付、提出期限の延長など、回答率向上にも努めた。 ・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評 価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行 えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p>
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てに関する保護者や人の成長」と「豊かな心と言葉を持つ子どもたちの育成」を実現し、人を大切にする社会を目指す。 ・全ての子どもには、無限の可能性があります。私たちは、それを引き出し「その子らしさと自ら伸びるチカラ」を育みます。 ・私たちは、「子育てに頑張る保護者様や家族の成長」に、寄り添い支援する存在であり続けます。 ・「感じ 考え 表現する」プロセスを大切にし、らしさの基盤を整え、育む保育。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たち自身が上手に「感じ 考え 表現」できるようになる。
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根っこ(心の安定 快動 自律)を整える ・未来志向で「感じ 考え 表現する」・お互いに心地よい関係を築く

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯59(在籍児童数74)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。
結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	74
利用者家族総数(世帯)	59
共通評価項目による調査対象者数	59
共通評価項目による調査の有効回答者数	37
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	62.7

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」37.8%・「満足」56.8%の計94.6%と高い値を得ており、設問別でも「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「急な残業等への配慮」「ケガ・体調変化への対応」など全17問中14問で80%台～100%の高い支持を得ている。
自由意見では「食育や英語の時間も採り入れ、季節のイベントや郷土料理の給食もあり、他クラスの先生方も子どもだけでなく親のことも覚えてくれている」「先生方は常に優しく責任を持って面倒を見てくれて安心して預けられ、多様な活動やイベントにも力を尽くしてくれてありがたい」「先生方の人間性がよく、親身に皆で育てているようで、園長先生も先生方もいつも声をかけてくれ、預けた瞬間に不安なく仕事に集中でき、保育内容も知育から運動まで幅広く、食育までしてくれる」「毎日ウィズブックの絵本の時間が0歳のクラスからあるのはとてもよく、それに合った活動を通してさまざまなことに触れたり楽しんだりできて魅力的で、英語もとてもよい」などの声が寄せられている。
さらなる向上を望む意見として複数見られたのは、職員の体制や日常の保育、保護者への情報発信に関することである。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	37	0	0	0
<p>実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、有効回答者37人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見は12件で、「先生方、友達との関わり合い、園でしか体験できないことをたくさん体験でき、とても心身の発達に役立っている」「さまざまな催し物をしてもらえ、よい刺激をたくさん受けている」「きちんと椅子に座っての活動、食事の際のマナー指導などが行き届いているため、日常生活の習得という面で本当に助かっている」「今年度から始まった英語は子どもも楽しんで参加している」などの声が寄せられている。</p>				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	36	1	0	0
<p>「はい」が97.3%、「どちらともいえない」が2.7%となっている。 自由意見は13件で、「保育園で楽しかったことは、家でもやってみようとしている」「季節ごとにその時にしか体験できないことなど、とても興味を持って参加し、家でもよく話してくれる」「公園遊びや園児の興味をひく園内の活動などを楽しみに毎日登園しており、文字が書けるようになり、時計も読めるようになっていた」「いろいろな工作や食育体験をしてきている」「昆虫や植物、食物に触れる機会が多く設けられているのも素晴らしい」などの声が寄せられている。</p>				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	34	3	0	0
<p>「はい」が91.9%、「どちらともいえない」が8.1%となっている。 自由意見は8件で、「園の給食には本当に感謝しており、家では野菜を食べずに困っていても、保育園で栄養バランスの整った食事を全部食べているとわかるだけで、精神的にもとても助かっている」「毎日完食で、保育園のご飯大好きーと家でも話しており、季節を感じるメニュー等、本当に助かっている」「無理やり食べさせることはせず、毎日見本が置いてあるのでどんな食事なのか見てわかる」などのほか、メニュー・食材などについて、さらなる工夫を望む声が見られる。</p>				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	26	6	5	0
「はい」が70.3%、「どちらともいえない」が16.2%、「いいえ」が13.5%となっている。 自由意見は15件で、「天気の良い日は毎日散歩に行ってくれ、その場で出会ういろいろなものに興味を持つきっかけづくりをしている」「先生方のおかげで散歩の楽しさと地域の人へ手を振ることを学び、いつもかわいがられており、行事も全力で飾りつけや企画をしてくれ、親子でいつも楽しんでいる」「散歩や公園遊び、水遊びなどたくさん機会をつくってくれて助かる」などのほか、戸外活動等のさらなる充実を望む声が寄せられている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	29	1	0	7
「はい」が96.7%、「どちらともいえない」が3.3%となっている。 自由意見は4件で、「柔軟に対応してもらい助かっている」「電話ができない時が多く、アプリですぐに情報を送れるのが大変助かり、アプリの確認もすぐにくれている」「いつも広い心で対応してくれて、安心して仕事に取り組んでいる」「経験がないのでわからない」との声が寄せられている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	31	5	0	1
「はい」が86.1%、「どちらともいえない」が13.9%となっている。 自由意見は11件で、「子どもの行動なので想定外のことも多いと思うが、つど先生と話したり、改善もしてくれ、今まで大きな事故やケガもない」「危険だと思ったことは一度もない」「多少転んでケガすることはあるが、きちんと見てくれている印象で、ケガや体調の変化はきちんと報告もあり、防災訓練も月に一度行っているようだ」「なにかあるとすぐに教えてもらって助かっている」などのほか、外部侵入対策や近隣の交通事情等について、気になる点や要望が挙げられている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	2	0	1
「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%となっており、「はい」の値は前回(2020年度・以下同、77.8%)から改善されている。 自由意見は6件で、「だいたい土曜日に設定してもらっている」「行事は土曜日にくれているので、参加できる」「土日に行事を行ってくれるので参加できて大変助かり、保護者会も平日夕方設定なので参加しやすい(土日を無駄につぶさないでくれてありがたい)」などのほか、行事の日程の設定、日程等の連絡などにおける各家庭への配慮などについて、さらなる検討を望む声が寄せられている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	32	3	1	1
「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が8.3%、「いいえ」が2.8%となっている。 自由意見は12件で、「個別に相談させてもらっており、保育に反映してくれてありがたい」「担任や園長に気軽に相談できる雰囲気や体制がある」「定期的に個別面談もあり、気になったことはいつでも話を聞いてもらっている」「とても相談しやすく安心だ」「先生方皆がわが子を認識しており、知らないだろうなという先生も声をかけてくれ、困りごとや成長ぶりを話したりしてフランクな関係を築けている」「保育士による」などの声が寄せられている。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	30	6	0	1
「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が16.7%となっている。 自由意見は9件で、「新設園ということもあり、とてもきれいで新しく、気持ちがいい施設で、掃除もまめにしている様子が見られる」「いつもきれいで、雨の日や台風の日にはタオルを準備してくれたり、とても優しい園だ」「保育園内はきれいに保たれている」「普段教室内に入ることはないが、気になる点はない」などのほか、清掃や衛生管理などについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	34	1	1	1
「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が2.8%、「いいえ」が2.8%となっている。 自由意見は7件で、「入園当時にたくさんの先生に挨拶してもらって嬉しかったのを覚えており、とても気持ちいい挨拶をいつもしてくれている」「先生方はいつも明るく元気で感じがよく、子どもたちが懐いているのもわかる」「皆100点満点だと思う」「特に気になる点はない」「年齢の若い先生ほど丁寧な印象だ」のほか、職員の保護者・子どもへの言葉遣いや接遇などについて、さらなる検討を望む声が寄せられている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	35	0	0	2
有効回答者35人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見は6件で、「連絡をもらっている」「何かあれば連絡や報告がある」「必ずお迎えの時に伝えてくれる」「しっかりと経緯を説明してくるし、自爆なのに謝罪してくれて、いつも申し訳ない」「職員室で看護師の先生が迎えまで見てくれているので安心できる」などの声が寄せられている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	22	7	0	8
「はい」が75.9%、「どちらともいえない」が24.1%となっている。 自由意見は9件で、「子ども同士で解決できるように見守り、解決できないようなら間に入ってくれるとのことだ」「まだその月齢にはないので答えられないが、信頼できる対応をしてくれると思う」「そのような経験はないが、信頼できると思う」「いさかいが少ない様子だ」などのほか、子ども同士のトラブル等の把握・対応や保護者への報告・説明について、さらなる検討を望む声が寄せられている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	32	4	0	1
「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が11.1%となっている。 自由意見は7件で、「一人ひとりのことをとても考えてくれていて、すごく信頼できる」「いつも子どもに寄り添った対応をしてくれている」「わが子も先生が大好きで話をよくしてくれる」「朝からぎゅーっと抱きしめてくれる先生ばかりで、うまく謝れないわが子だが、根気よく対応してくれていて、子どもたちの学びのまだ最中だ」などのほか、子どもの気持ちを大切にされた対応、一人ひとりへの関わりや目配りなどについて、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	29	4	0	4
「はい」が87.9%、「どちらともいえない」が12.1%となっている。 自由意見は3件で、「パーティションなどを使って配慮してくれているのがわかる」などのほか、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	32	4	0	1
「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が11.1%となっており、「はい」の値は前回(76.7%)から改善されている。 自由意見は6件で、「連絡帳に毎日丁寧に子どもの様子を書いてくれている」「毎日の連絡帳がよく見てくれていると思うことばかりで、楽しみだ」「毎日ちょこちょこ伝えてくれ、課題も教えてくれるので家でも同じようにトレーニングできる」「年度初めのクラス会や、日々の活動は毎日掲示板に書いてくれる」などのほか、保育内容等に関する保護者との共有について、さらなる配慮を望む声があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	28	3	0	6
「はい」が90.3%、「どちらともいえない」が9.7%となっている。 自由意見には「こちらから不満を伝えれば対応してくれる雰囲気がある」の1件があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	14	5	5	13
「はい」が58.3%、「どちらともいえない」が20.8%、「いいえ」が20.8%となっており、「はい」の値は前回(41.7%)から改善されている。 自由意見には「経験がないのでわからない」の1件があった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリー1の講評	
	<p>保育の理念やその実践の柱とするエッセンスについて、保護者への周知に取り組んでいる</p> <p>すべての子どもの無限の可能性を引き出し、「その子らしさと自ら伸びるチカラ」を育むこと、また子育てに頑張る保護者や家族の成長に寄り添い、支援する存在であり続けることを、本社の系列園共通の保育理念に掲げている。保護者に対しては、これらを体現する日々の保育提供や保護者支援において重要な要素となる、子どもの「らしさ」と「感性、理性、創造性」の育み、独自開発の「ウイズブックプログラム」をはじめとする保育のエッセンスなどと併せ、見学・入園時に説明するほか、クラス会や毎月の園便りでも発信し、理解獲得に努めている。</p> <p>本社や園の目指すものが職員に周知され、運営においては経営層が現場を統括している</p> <p>職員は上述の保育理念や、その源となる本社のビジョン、「子どもたちに胸をはれる自分になる」ことを旨とする職員の行動指針など、本社が保育や社会貢献などにおいて目指すものや担う使命を、入職時の研修を通じて学んでいる。また入職後に個別の人材育成の仕組みとして行われる、「ミッションシート」による目標管理と園長との面談も、これらの理解と浸透の一助とされている。園の運営においては、園長をはじめとする経営層が現場の日々の指導と統括にあたるとともに、毎月の職員会議などを通じ、園・本社の方針を随時職員に周知させている。</p> <p>組織の意思決定や情報共有の仕組みを整え、必要な情報を職員・保護者に周知させている</p> <p>経営層を含む上席者が集うリーダー会議と、常勤者による職員会議を毎月設け、リーダー会議で各クラスの状況を共有し、運営や保育に関する方針・方向性を検討するとともに、全体で討議すべきものを職員会議で話し合う流れとしている。各会議の議事内容や決定事項等は、議事録や出席者からの伝達によって組織全体に周知され、保護者にはアプリでの配信を基本に、案件に応じ書面も併用し、種々の重要事項を伝えている。園舎が3つの階に分かれていることから、職員会議ではリモートツールも活用するほか、日常的な組織内の協力・連携を常に意識している。</p>	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		6/6
		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現 に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>園の年度の事業計画・予算、本社の保育事業における「中期計画書」が作成されている</p> <p>年度の事業計画として、上述の本社のビジョンや保育理念のもとで行う、「ウイズブックプログラム」をはじめとする保育実践や保護者・地域支援、組織運営や職員育成、行事及び食事・保健、各種安全対策など、園の年間の運営における取組内容や方針等を定めている。年度の予算の作成と管理は、本社が園の状況や現場の意向を踏まえて行い、園において予算に基づく計画的な支出や、必要な本社への稟議を行う仕組みとしている。また本社作成の「中期計画書」に、当園を含む本社の保育事業全体の重点課題を、今年度と来年度以降について列挙している。</p> <p>保護者や職員の意向も踏まえて現場の業務の各計画を作成し、その実施体制を定めている</p> <p>行事後の感想収集やクラス会・運営委員会での意見交換などを通じ、保護者全体の意向を把握するほか、職員の意向は前述の各会議や日常の業務内外の会話、園長による面談などから把握している。これらを通じて抽出した課題も踏まえ、保育その他の日常業務について、取組内容や目標・ねらいを定めた年間及び各期間の計画を作成し、現場の業務に反映させ、必要な進捗管理を行っている。また「職員役割分担表」に、各担任・専門職者のほか、行事や各保育書類、苦情受付・保護者支援、ウイズブックプログラムや避難訓練の担当者・リーダーを一覧化している。</p> <p>地域の状況や行政・業界の動向を把握し、今後の経営継続に向けた課題も意識されている</p> <p>見学者や在園世帯の声から、地域の子育てや保育・教育等の傾向を把握するほか、区の「こども家庭あんしんねっと協議会」の地域内の分科会を通じ、虐待や育児困難等に関する地域内の状況が伝えられている。行政の各種政策・制度の動向や業界内の直近の話題は、区の私立保育所園長会や自治体の各種通達、本社や関係団体の各種発信から把握している。諸事情から組織体制の変動が続き、組織の同僚性の向上や指導体制の確立を課題とするほか、地域内の競争激化に対応するための、園としての地域への発信や子育て支援の拡充にも取り組みたいと考えている。</p>		

カテゴリ3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー3の講評		
子どもへの言動をはじめ、全職員が守るべき心得や規範に関する啓発がなされている 全職員に対し、入職時の「スタートアップ研修」により、前述の行動指針や社会人・職業人としての基本心得、場面ごとの子どもへの言葉かけをはじめとする保育者としての基礎的な規範が伝えられている。また本社の「保育ガイドライン」を踏まえた年3回の個別の自己評価や、園長による年間複数回の園内点検「ラウンドレビュー」でも、保育の各場面での子どもへの言動、生活面の援助の際の子どもの人権擁護やプライバシー保護、保護者の心情に配慮した言葉かけなど、全職員が守るべき心がけについて、各人の振り返りや現場の実践の確認がなされている。		
不適切な保育や家庭での虐待等の防止と、保護者の苦情等への対応の体制を整備している 上記の保育ガイドラインには、登園・食事・散歩など保育の具体的な場面ごとに、避けるべき虐待的言動や、同じ場面での望ましい働きかけが例示され、関連する動画研修の受講も課されている。また園内の会議でも、子どもへの言動を戒める園長からの啓発が折々になされている。また家庭での養育状況が懸念される子どもについて、組織内で情報を共有し、行政機関と連携して見守る体制を整えるほか、品川区作成の関連の手引書を常備している。苦情等の受付に関する本社や園内の体制の整備や、入園時の説明を通じた保護者への周知もなされている。		
地域の一員として子育てなどを支えるために、さまざまな取組を行っている ホームページや品川区を通じて園の情報を発信し、見学で来園する未就園世帯に、相談対応や保育所体験などの支援を行い、年度途中から身体測定も実施している。本社代表によるオンラインの子育て講座の視聴も勧めており、今後は離乳食相談や戸外での「ウィズブックプログラム」体験なども企画したいと考えている。区の私立保育所園長会や「こども家庭あんしんねっと協議会」の地域分科会を通じ、保育や施設経営、虐待防止や家庭支援などに関する保育・福祉関係者間の連携にも参画している。実習生の来園に備え、本社作成のマニュアルを常備している。		

カテゴリ4		
4 リスクマネジメント		
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>不審者や災害の発生、SIDS・熱中症など、各種重要リスクへの対策に取り組んでいる</p> <p>不審者対策として、侵入口となりうる箇所の防犯カメラによる常時監視を行うほか、侵入と戸外での遭遇を想定した対策訓練を毎年度実施している。また毎月の避難訓練により、地震・火災及び水害の発生時の対応を確認し、災害・感染症用のBCPを今年度作成している。子どもの睡眠時の状態確認や、看護師・園長による職員への救命救急訓練実施など、SIDS対策を講じるほか、夏場の「暑さ指数」に基づく戸外活動の自粛など、熱中症予防にも努めている。「安全点検チェックリスト」などによる園内各所の周期的な安全点検もなされている。</p> <p>保育中のさまざまな緊急事態への対応や、日常の各種事故の防止にも取り組んでいる</p> <p>「緊急時対応シミュレーション」として、SIDS発生時の対応やAED・心肺蘇生法、軌道内の異物除去や、アレルギー事故・けいれんや園児の衝突・転倒と頭部の強打の際の対応など、保育中に起こりうる緊急事態への対応を想定した訓練・研修を行っている。また子どものケガなどの事故について、発生時の組織内の周知や原因・対策の検討により、現場に注意を促すほか、看護師が毎月の集計・分類を行い、会議で発生の傾向や想定される事故リスクとともに報告を行っている。ヒヤリハットの把握にも取り組み、同様に会議で注意喚起がなされている。</p> <p>各種情報の適切な取り扱いと漏洩防止のための、環境や仕組みが整えられている</p> <p>職員の入職時の「スタートアップ研修」で、コンプライアンス遵守の一環として、端末・書類及びデータの保管や持ち出し禁止、情報・プライバシー漏洩につながる言動の禁止など、情報管理の徹底に関する啓発がなされている。また「保育園運営マニュアル」に、個人情報保護の利用目的と目的外利用・第三者提供の制限、開示・訂正・削除請求への対応など、種々の原則を定めている。保護者には入園時に、これらに関する説明と同意の確認を行い、重要書類や端末機器類の施錠管理やセキュリティ設定など、設備面でも情報漏洩防止に配慮している。</p>		

カテゴリ5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
組織力の向上に取り組んでいる			
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		○非該当
カテゴリ-5の講評			
<p>本社と各園が協力して人材確保に努め、育成・登用等における職務要件を定めている</p> <p>本社が当園を含む傘下各園の職員の募集・採用を行い、公式サイトでの各種発信と応募受付をはじめ、多様な媒体・ルートによる人材確保に努めており、各園が施設見学や園長による応募者との面談等の協力を行う体制としている。また入社日から3か月間の本社担当による「試用期間面談」により、新入職者を支援し、早期退職の防止を図るほか、異動・配置は園内の体制の状況に応じ、各人の意向も踏まえて行っている。職員のキャリアパスを示す育成・登用等の人事制度の指標として、保育補助から園長までの各階層で、系列園共通の職務要件が定められている。</p> <p>各職員の成長と意欲向上を支援する、個別の評価・目標管理の仕組みを整備している</p> <p>全職員を対象に、「ミッションシート」による個別の評価・目標管理を行っている。保育・看護・調理の各職種で、上記の職務要件に準拠する項目により、職責の遂行や望まれる姿勢・研鑽などに関する半期ごとの自己・上司評価を行うとともに、課題や成長目標を設定し、これらを園長との年間複数回の面談によって各人と共有している。また評価を人事や賞与にも反映させ、意欲の向上にもつなげる仕組みとしている。事業計画には人材育成の計画として、経験・職位に応じた各段階で、系列の法人が行う職員必修の研修課目を列挙し、各人に受講が課されている。</p> <p>内外の研鑽や現場の話し合いを園の保育の充実に活かし、働く環境の整備にも努めている</p> <p>品川区その他の社外の研修も各職員の専門性向上に活かすほか、保育の柱とする「ウイズブックプログラム」について、本社担当者による視察・助言や、園内の同プログラムの推進担当者向けのオンライン研修があり、同プログラムの質の向上に活かされるなど、上記の社内研修と併せた多様な内部研鑽の仕組みが整備されている。また日々の各会議での話し合いも、保育や安全面などの改善につなげられている。各種の労務管理、「コンディションシート」による職員の状況把握と産業医等との連携など、労働環境整備にも努め、さらなる環境向上を課題としている。</p>			

カテゴリ7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
園舎が3つの階に分かれており、各階・各クラスで緊密なコミュニケーションを図り、保育や業務における連携を確実に行う仕組みの確立が、継続的な課題となっている。声かけや相談・打ち合わせの場も設けており、情報や理解・認識の共有にも努めているが、現場がそれをより意識し、自律的に対応できるよう、昨年度は各職員にリーダー的業務を任せ、行事その他のさまざまな場面での企画を委ねることで、各階・各クラスの主体的な判断・取組を促し、相互の連携も自発的に行える体制づくりにつなげることを目指した。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
新たな体制は、各階・各クラス単位での自律的な動きにはつなげられたものの、声かけやコミュニケーションには職員間でばらつきがあり、個々の職員・チームの主体性に委ねることで、相互の連携や他の職員・クラスを意識した発想や判断にも難しさが生じる面も見られた。今年度はその反省を踏まえ、クラス会議には園長・主任も同席し、日々の課題について、各クラスでより深く話し合われるよう、随時助言や支援を行っている。またリーダー会議を毎月行い、各階・各クラスの状況を共有したうえで、園全体として課題を話し合う体制として、各リーダーがそれを踏まえて各クラスの取りまとめ役を担い、方向性を組織全体で共有しながら日々の業務にあたるようにしている。またアプリの園内連絡機能も活用し、各会議の議事録には閲覧後の押印をルール化するなど、情報共有の仕組みの強化も図っている。	

評価項目2
 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)
 系列園共通の保育理念の一つに、子どもの無限の可能性を引き出し、「その子らしさと自ら伸びるチカラ」を育むことを掲げている。それぞれの子どもの「らしさ」を育み、受容するうえで、子どもが物事に取り組む姿を、結果ではなく過程に目を向け、それに寄り添う言葉かけが重要となるが、昨年度は各保育者の子どもへの言葉かけをより適切なものとするを重点課題とした。言葉かけの大切さは理解しつつも、具体的にどのように言葉を選び、子どもに伝えるかに迷う職員も見られたことから、各人の学びや上席者の助言によってその習得を図ることを目指した。
 本社の「保育ガイドライン」に準拠する研修動画が制作されており、各人にその活用を促すとともに、日常の現場で、主任・リーダーや園長が各人の言葉かけに対する啓発を随時行った。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評
 各人の動画の視聴によって具体的な言葉かけの例を順次学び、視聴の状況は園長が随時確認した。また現場で見られた気になる言葉のかけ方に対して、主任・リーダーや園長がそのつど指導を行った。
 経営層は取組の成果として、日々の各職員が子どもへの言葉かけに配慮や工夫をする様子が以前よりも見られるようになったと考えている。一方で理解や励行には職員ごとにばらつきもあり、さらなる研鑽の必要性も認識している。
 今年度は動画の視聴が各人のスマートフォン端末等でもできるようになり、自宅や移動中でのアクセスも可能となっている。また毎月の職員会議・リーダー会議で、子どもに接する際の声のトーンへの配慮や、言葉をかける際には問いかけや肯定的な表現を意識的に用いること、「お壁べったん」「あと一口」など、これまで習慣として用いていた、現在は不適切とされる言葉を慎むことなど、園長が各職員への注意喚起を行うほか、言葉のかけ方に関する適切・不適切について話し合いの場を持つなど、さらなる啓発に取り組んでいる。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>ホームページでは、保育の方針や施設・子どもの状況等が伝わりやすいよう工夫している</p> <p>ホームページ(以下、「HP」)では、保育のキーワードの「らしさ」と「感性、理性、想像性」、オリジナル絵本の読み聞かせから広がる体験活動「ウイズブックプログラム」や環境設定・保護者支援など、系列園共通の思いや方針の説明がなされている。各園のページでは園長からのメッセージと特徴的な取組の紹介、園の概要が掲載されており、園見学の申込みもウェブ上で受け付けている。また、施設紹介の動画や活動の一端をとらえた写真のギャラリーのほか、随時発信される園ブログなど、園の雰囲気や様子が伝わりやすいよう工夫がなされている。</p> <p>さまざまな媒体を通じ、園に関連する情報を地域の方々へ提供している</p> <p>園のパンフレットを準備しており、区役所に常置するほか、見学者に配付している。園の門扉には、小学生・中学生・高校生の保育士体験の募集のほか、保育園体験に関するお知らせを掲示し、地域の方の参加を募っている。また見学の受け付けの際には保育園体験の参加を呼びかけ、親子で園の雰囲気などを知ってもらう機会を提供している。行政との連携を図り、園の情報提供を行っており、区の入園関連の冊子等に園の基本情報が掲載されるとともに、区のHPでは年齢別の入園可能人数の情報が定期的に公開されている。</p> <p>園見学を受け入れており、入園の検討に必要な情報提供と詳細な説明を行っている</p> <p>見学はHPや電話での予約にて随時受け付けており、子どもの様子や活動の一端が見ることができる午前を中心に設定している。当日は各フロアを回りながら、「ウイズブックプログラム」と絵本についてエピソードを交えて伝えるほか、園生活の流れや持ち物、食事や食育活動など、年齢に合わせた内容や園の特色を説明している。また連絡アプリや口拭き・エプロン等の園での提供などの負担軽減の配慮のほか、乳児では食材チェック表をもとに園での食事提供前に家庭で試す食材を説明するなど、入園に関する準備や心構えに役立つ情報提供も行っている。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
2 サービスの開始・終了時の対応			
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>保護者に対して、重要事項の説明を行い、その内容等の同意を得ている</p> <p>入園時には保護者に対して重要事項の説明を行っている。「入園のしおり」(重要事項説明書)に基づき、園の理念や方針、「らしさ」などのほか、持ち物や園からのお願い事項など重点的な内容を伝えている。また質疑応答の時間を設けたり、面談の際に補足の説明を行ったりして疑問点がないよう配慮するとともに、「入園のしおり」の説明動画を準備し、希望する保護者が確認することができるようにもしている。これらのうえで、園の利用にあたっての重要事項の説明と個人情報の利用に関する同意書を取得している。</p> <p>子ども一人ひとりの成育歴や既往症等の情報を把握し、組織内での情報共有を図っている</p> <p>子ども一人ひとりの家庭での状況やこれまでの育ちなどは個別の面談と保護者が記入・提出した書類などで把握している。面談シートをもとに、保育時間や延長保育・土曜保育の利用、アレルギーや健康面の状況、排せつ・睡眠・食事などの状況を聴き取るほか、栄養士と看護師が同席し、食事面や健康面などのより詳しい情報の確認と聴き取りを行っている。食物アレルギーや熱性けいれん、肘内障などの既往症等は一覧にして各クラスで共有するほか、アプリの園内連絡にて共有したり、職員会議の際に報告したりして情報共有を図っている。</p> <p>利用開始・終了などの環境変化に伴う子ども・保護者の不安軽減等の配慮に努めている</p> <p>入園直後の「慣れ保育」については、保護者の就労復帰の時期や子どもの状況などを踏まえ、保護者と相談しながらスケジュールを決めている。また開始後の子どもの状況を伝えつつ、保護者の意向等によって個々に柔軟な対応に努めており、保育にあたっては担任が子どもとの関わりを持ちながら関係づくりに配慮するなど、子ども・保護者がともに安心してもらえるよう配慮している。卒園等での保護者の不安軽減に向け、日頃の会話や就学前面談を行うほか、小学生等の保育士体験を開始し、卒園した子どもが参加するといった関係継続にもつながっている。</p>			

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリ3の講評		
<p>子どもの心身の発達状況を定期的に確認し、長期・短期の保育計画を策定・実践している</p> <p>子どもの心身の発達状況については、定期的に年齢別の主な発達の現れに関するリストを用いて確認するほか、健康面・食事面・情緒面や具体的な遊びの姿、家庭状況などについても児童票に記録している。全体的な計画をもとに、年間を4期に分けて構成する年齢別の指導計画には、養護と教育の各領域や園の特色である「ウイズブックプログラム」、保護者支援・長時間保育などに関する目標掲げしており、これを短期的な月案・週日案に展開し、実践につなげている。これらの計画は周期ごとに振り返りを実施して、次の計画につなげる仕組みとしている。</p> <p>個別の発達に沿った計画を作成し、保護者には保育の目標や内容を伝えている</p> <p>集団としての計画だけではなく、発達の著しい2歳児クラスまでの子どもと、特別な配慮を必要とする子どもについては個別の指導計画を立案しており、巡回指導で来園する専門家の助言も援助の参考としている。保護者との個人面談を年2回実施し、子どもの健康や発達の状況を伝え合うほか、発達の見通しや援助の方針を伝えるようにしている。また保護者に対して保育目標や保育内容を伝える機会として「クラス会」を設け、年間の目標や玩具・遊びの紹介、一日の流れ、食事などの説明を行い、0歳児では離乳食の試食も実施している。</p> <p>子どもや保護者の状況や保育実践の内容を保育者間で共有している</p> <p>子どもや保護者の状況や保育実践の内容を保育者間で共有している。月に一度クラス会議を実施しており、子どもの発達や情緒面、健康面の情報を共有し、対策を検討するほか、行事への取組の確認なども行っている。クラス会議には園長・主任も参加して、必要に応じて助言を行っている。また今年度8月から、日々の保育内容や行事、事故の再発防止や人権擁護など、園内の検討を要する事項について話し合うリーダー会議を設けており、会議で決定した内容をクラス単位の取組に反映させるために、リーダー会議はクラス会議の前に実施することとしている。</p>		

サブカテゴリ5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ5の講評		
子どものプライバシーを守り、羞恥心に配慮した保育を行うよう努めている 子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えの際は他者からの視線を遮ることのできる場所で行っている。衣服の着脱では、全裸にならないよう上下片方ずつ着替えるよう子どもに伝えるほか、通りに面した窓ガラスは、内部が見えないよう曇りガラスとなっている。また排せつの失敗への援助では、周りの子どもたちに気づかれぬよう気遣い、自尊心を傷つけないように配慮している。子どもに関する情報を外部とやり取りする必要性が生じた場合には、法的例外等を除き、そのつど保護者に同意を確認することとし、その旨を保護者にも入園時に説明している。		
子どもへの望ましい関わりや保育の実践に向け、振り返りと意識継続の促しを行っている 会社共通の「保育のガイドライン」には、望ましい保育や子どもとの関わりなどの具体的な事例をもとに、虐待の防止と人権の尊重を促しており、定期的に実施する自己評価ではこれらを踏まえ、各職員が日頃の保育の振り返りを行っている。不適切保育のガイドラインや人権擁護のチェックリストを回覧するとともに、同チェックリストは職員個人に配付し、各自での確認と意識継続を促している。職員会議では声のトーンに気をつけることや、肯定的な言葉かけや問いかけを意識すること、子どもの意思を尊重しない対応をしないことなどを園長から伝えられている。		
各家庭の状況を把握し、必要な見守りや支援などの仕組みを整えている 入園時及びその後のやり取りなどを通じ、子どもや保護者の状況や意向を把握し、個々の配慮に努めている。区主催の児童相談所研修を園長が受講し、その内容を職員に共有したり、保護者に対する見守りやサポートの必要性などを会議で伝えるなど、組織内での虐待防止に関する知識等の共有と研鑽を図っている。また区のプロックでの関係者会議があり、地域での情報発信や見守りなど話し合いをするほか、園内での事案が生じた際には、緊急時対応フロー等のマニュアルをもとに、関係機関との連携や本社や園内での情報共有を図る仕組みとしている。		

サブカテゴリ6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ6の講評			
<p>園運営や保育に関するマニュアルを整え、研修や動画の共有などで周知を図っている</p> <p>系列園共通の園運営全般の内容を定めた「運営マニュアル」のほか、感染症対策や衛生管理、給食ガイドラインなどが定められており、事務所での閲覧が可能となっている。また、「保育のガイドライン」には、朝の受け入れから自由遊び、食事・睡眠・排せつなど、保育に関する一連の流れとそれに伴う手順や考え方、望ましい子どもへの関わり・対応などをまとめている。入社時の研修で学ぶ機会を設けており、具体的な手順は動画で共有できるようになっている。また、法人の社内報「てとと」で、トピックスとなる情報提供と注意喚起を行っている。</p> <p>本部及び園の仕組みを見直し、さまざまな改善や変更などを行っている</p> <p>系列園共通のマニュアルや運営に関連する内容・様式等については、本部の園長会で見直しや変更の検討が行われており、決定した内容が各園に展開されることとなっている。園内では運営上の業務において、リーダー層を中心として話し合いを重ね、改善と見直しを図るほか、職員の提案を活かして新たな取組につなげたり、所定の業務の徹底を促すため園独自のマニュアルの整備や手順の周知と確認を行うなど、さまざまに取り組んでいる。さらに保護者の意見や要望等を受け止め、それを踏まえた改善と意識啓発なども行っている。</p> <p>業務水準の維持と、着実な実行を図るための仕組みを整えている</p> <p>「安全点検チェックリスト」をもとに、室内の各所での危険な箇所や状態などを日々確認するほか、保育上での清掃・SIDS・散歩など安全・衛生面において業務の確実な遂行のためのチェックを行っている。また、「ウィズブックプログラム」は講師が各職員が実践する姿を見て、その後の指導・助言を行うなどして、会社・園の大切にしている保育の手法を高めるための支援を行うほか、所定の項目をもとに前述のガイドラインを踏まえ、園長が自園の実践状況を点検する仕組みを設けている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの発達を把握し、必要な保育環境を整えている</p> <p>日々の活動の様子などから、子どもの興味・関心や成長・発達を把握し、職員間で共有するほか、家庭での様子を保護者との送迎時の対話や連絡帳、個人面談などで聴き取っている。把握した情報をもとに環境構成の工夫に努めており、玩具や絵本は年齢相応のものを用意するほか、0歳児クラスでは、粗大運動ができる空間と遊具を用意している。3歳児クラスでは、生活習慣の自立への援助の一環として、衣服のたたみ方の手順や順番を示すイラストを掲示するほか、4・5歳児の部屋には、かな文字の表や、自由に制作が行える道具・材料を用意している。</p> <p>日々の活動により、子どもたちの主体性の伸長や年齢相互の育ち合いを促している</p> <p>子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、玩具や絵本は自由に手に取れるように提示している。「ウイズブックプログラム」では、子どもたちの興味やつぶやきから活動を展開させることを基本としており、子どもたちの主体性の伸長を促す活動となっている。朝夕の合同保育の時間や戸外活動などでは異年齢保育が行われており、年下児には心の安定のほか、憧れや意欲の高まりなどがもたらされ、年上児には優しい気持ちや頼られることで自信が培われるなど、年齢相互の育ち合いが促されている。</p> <p>子ども同士のトラブルへの対応では、言葉の発達を踏まえた援助に努めている</p> <p>子ども同士の関わりの中で生じる摩擦やすれ違い等のトラブルへの対応では、言葉が使える年齢では、子どもたち同士のやり取りを見守りながら、必要に応じて代弁や話題の整理などの援助を行い、自分たちで解決する体験ができるように関わることを大切にしている。言葉でのコミュニケーションができない子どものトラブルの場合には、双方の気持ちに寄り添って代弁し、関わり方を伝えるなどの援助を行い、かみつきや引っかきについては、子どもの情緒面や発達状況を職員間で共有し、職員の位置取りを工夫するなど、未然に防げるよう努めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの状態を確認し、降園時には、子どもや活動の様子を伝えている</p> <p>登園時には、受け入れを行う保育者が視診を行い、目に見える範囲の肌や傷の有無、目の状態、顔色、機嫌などを確認するほか、保護者から家庭での様子や伝達事項を聴き取り、「園児状態チェックメモ」に記載し、職員間で共有している。保護者が入力した連絡アプリの内容は、主活動開始前に確認・共有することとしている。降園時には、お迎えが集中する場合を除き、できる限り子ども一人ひとりのエピソードを伝えるようにしており、2歳児クラスまでは連絡アプリに個別の情報を記載し、3歳以上児は毎日クラスの活動報告を掲示している。</p> <p>生活習慣の獲得への援助は、子どもの意欲を尊重して行っている</p> <p>排せつの自立への援助は、子どもの身体機能の発達や意欲を踏まえて行い、活動の切れ目のほか、個々の排尿間隔や尿意を知らせる様子からトイレに誘いかけ、うまくいった時には喜びをともにして、感覚をつかみ、自信を持てるようにしている。保護者には園での取組や子どもの状況を伝え、パンツや着替えの用意などの協力を依頼している。衣服の着脱では、保育者は子どもが自分で行おうとする姿を認め、「できた」瞬間と一緒に喜び、子どもができるところまでは見守り、さりげなく援助し、援助を求めてきた際には、手順やコツを伝えるようにしている。</p> <p>休息は子どもの発達や生活リズムに応じて取れるようにしている</p> <p>休息は子どもの発達や生活リズムに応じて取れるようにしており、午前寝や夕寝に対応するほか、日中や食事中に眠たくなってしまう場合にも、寝られるようにしている。午睡は身体を休める時間として採り入れており、就学を見据えて1月頃から午睡がなくなる年長児も、休みたい場合には、寝具を用意するようにしている。入眠への援助では、子どもの個々の好みやリズムを踏まえて、身体をさすったり、トントンしたりするほか、寝入るまではお気に入りのタオルなどを持ったまま横になれるようにしている。睡眠時にはSIDS対策を講じている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>自由な時間を確保し、集団活動に主体的に参加できるよう配慮や工夫をしている</p> <p>絵本から発想を得て活動を展開してゆく「ウイズブックプログラム」や行事、散歩、午後の幼児の英語のウイズブックプログラム等の集団活動以外の時間帯は、基本的に自由な遊びを楽しめるようにしており、玩具や道具は自由に使えるようにするほか、遊び込めるよう机を用いて活動場所を分けしている。集団活動に取り組む際には、子どもが主体的に参加できるよう、導入の際に子どもの意見や感じたことを聴く機会を設けたり、遊びのルールや楽しさを伝えたりするほか、子どもが過去に体験したこととつながりを持たせるなどの工夫に努めている。</p> <p>歌や合奏を楽しむほか、身体を動かす活動やルールのある遊びを採り入れている</p> <p>「ウイズブック」絵本には、その内容に合わせた歌が用意されており、その歌を歌うほか、季節の歌や手遊びも採り入れている。また手作りの音の鳴る玩具や、カスタネットやタンバリン、鈴などの打楽器を用意するほか、幼児クラスでは木琴・鉄琴、鍵盤ハーモニカ、ハンドベルなどを使った合奏を体験しており、発表会での披露にもつながっている。平均台や鉄棒、跳び箱などの道具を使った運動遊びに取り組む、公園では固定遊具やボール遊び、さまざまな種類のルールのある遊び、長縄・短縄などを楽しむなど、身体を使った活動も採り入れている。</p> <p>戸外活動を通じて、自然の変化に気づき、交通ルールを学んでいる</p> <p>好天時には散歩に出かけており、子どもたちが公園の木々や草花の変化から季節の移ろいを感じたり、虫の探索や観察を楽しんだりしながら、さまざまな自然の不思議に触れ、園内でもカブトムシ・クワガタやメダカの飼育を行っている。また自然の変化や不思議への関心をウイズブックプログラムで展開することもあり、5歳児クラスでは、みんなで気づいたことを話し合ったり、調べて、実際に試してみたりする活動にもつながっている。交通ルールや公の場でのマナーも学び、近隣の方と挨拶を交わしたりすることを通じ、社会性や規範意識などが育まれている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>行事計画書をもとに行事を実施し、アンケート結果や振り返りを次回に活かしている</p> <p>行事を実施する際には、子どもたちにとって無理な活動にならないよう、行事全体のねらいを立てて計画書を作成し、準備するもののほか、当日までの取組の実績を記録している。取組の経過は各種会議での報告により共有しており、実施後には振り返りを行い、保護者参加の行事については、アンケートを実施している。計画書やアンケートは、資料とともにファイルに綴り、次年度につなげることとしている。行事の予定は園便りに記載し、取組の経過は送迎時の会話や毎日の活動報告などで保護者に伝えている。</p> <p>季節の行事では伝承に触れ、遊びを楽しみ、誕生会ではみんなで成長を喜び合っている</p> <p>七夕やお月見、節分などの季節感のある日本の伝承行事や、ハロウィンやクリスマスなどの外国由来のイベントの際には、絵本や紙芝居などを用いて、行事の意味や物語を、子どもの理解度を踏まえて伝えるほか、保護者の協力を得て短冊に願いごとを書いて笹に飾りつけたり、ハロウィンの仮装や節分の豆まきをしたりするなど、風習や遊びを体験している。また行事を象徴するものをテーマに制作活動に取り組むほか、視覚的に楽しめる行事食の提供も行っている。誕生会も毎月実施しており、一つ年齢を重ねたことをクラスの皆で喜び合っている。</p> <p>運動会や発表会でやり遂げることを体験し、自信や協調性などの心の成長が促されている</p> <p>運動会や発表会など、保護者への発表を伴う行事に取り組む際には、大人が主導する、見せるためだけのものにならないよう、子どもたち主体の取組とすることに留意している。訪問調査当日には、年長児が発表会で披露する劇の練習を行っており、劇中の登場人物の気持ちやその気持ちの表現の仕方などを皆で考え、意見を出し合う様子が見られている。運動会の遊戯やリレーの際などにも、子ども同士で教え合う姿があり、協力して一つのことに取り組み、やり遂げることで、達成感や充実感もたらされ、自信や協調性などの心の成長が促されている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間が長くなる子どもの健康面への配慮に努め、休息を適宜取れるようにしている</p> <p>長い保育時間を健康的に過ごせるよう、子どもの健康状態の把握に努めており、登園時には視診を行い、子どもの顔色のほか、目に見える範囲の傷や肌の状況、熱の有無などを確認し、情報を職員間で共有する仕組みを整えている。保護者から健康面での不安や疲れなどの情報を得ていたり、朝の体温が平熱よりも高かったりする際には、子どもの状態を頻回に確認するようにしている。休息は子どもの体力や生活リズムに応じて取れるよう配慮し、水分補給を活動の合間に促すほか、飲みたい時に飲めるようにしている。</p> <p>一日を通じた活動のバランスや、安心・安全への配慮に努めている</p> <p>一日を通じて、子どもたちが飽きずに過ごすことができるよう、活動のバランスやバリエーションに考慮しており、行事に向けた活動などの集団活動の後には、自由保育の時間を設けるほか、室内と戸外、動的な活動と静的な活動を織り交ぜるようにしている。子どもの降園が続き、人数が少なくなる際には、異年齢の合同保育を採り入れており、安全に過ごせるよう、提供する玩具を検討するなどの環境面の配慮や、職員間の情報共有に努めている。また情緒面に不安が見られる場合には、スキンシップを図り、安心して過ごせるように援助している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが食事を楽しく味わえるよう、雰囲気づくりや喫食状況の把握に努めている</p> <p>楽しく食べられるよう雰囲気づくりに配慮しており、手づかみ食べを存分に体験できるよう援助するほか、会話を楽しみながら、おいしさの共有や食材の好き嫌いなどへの共感にも努めている。幼児クラスでは、指導食として職員も一緒に食事を摂り、食事のマナーについても伝えるようにしている。保育者と調理担当が連携を図り、子どもの喫食状況を共有する仕組みを整えており、「喫食チェック表」で料理別の大きさ・分量・食べ進みについて、保育者が所感を3段階で記録し、備考欄にその理由を記載している。また月に一度給食会議を実施している。</p> <p>年齢別にねらいを立てて食育計画を策定し、栽培や買い物体験などの活動を行っている</p> <p>各クラスに担当の栄養士を配し、食育活動を実践している。食育の年間計画は、年齢別にねらいを立てて策定しており、子どもたちの発達段階を踏まえるほか、月の「ウイズブック絵本」との関連も考慮して具体的な活動につなげている。トウモロコシの皮むきやソラマメの鞘取りなど野菜に触れたり、おにぎりやピザトーストなどの調理を体験したりするほか、栽培活動や買い物体験にも取り組み、年長児では、食べ物と身体の関係などの知識の獲得や、食材や作り手への感謝の気持ちを育むところまでを目標にしている。</p> <p>アレルギー対応食や離乳食の提供時のルールを定めるなど、安全な食事提供に努めている</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもの対応は、医師の診断書をもとに保護者と面談を行い、園での対応に関する同意を確認したうえで実施しており、月末に翌月の献立を確認する仕組みとなっている。提供までの各段階で複数の職員が除去内容を確認し、専用の食器・トレー、食札を利用するなど、誤配・誤食の対策を講じている。離乳食は、食材の経験や咀嚼の状況を保護者が提出する食材チェック表や面談で把握し、食べたことのない食材は家庭で複数回経験した後に提供しており、食材の経験や咀嚼の状況等を踏まえながら、無理なく段階を進めるようにしている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>自分の身体や健康の大切さを知り、危険の回避も意識できるよう支援を行っている</p> <p>子どもたちへの保健指導では、手洗いの必要性やばい菌などの説明をしたり、イラストを用いて正しい手の洗い方をわかりやすく伝えるほか、実際の手洗いをを行う際にはチェッカーで洗い残しの確認をするなど、子どもがより視覚的に理解しやすいようにしている。また5歳児には目の愛護デーにちなみ、目やまつ毛、涙等の役割を説明し、自分の目を大切にするために必要なことや約束ごとなどを伝えている。日頃の生活の中で手洗い等に取り組んだり、戸外活動時に遊びの約束ごとや交通ルール、避難訓練時に安全な避難な方法など、それぞれ伝えている。</p> <p>嘱託医や保護者との連携を図り、子どもの健康面のケアや管理にあたっている</p> <p>嘱託医による定期的な健診があり、子どもの発育や健康の状態を確認・記録しており、健診時及び随時の機会に嘱託医との相談が可能となっている。健診結果については連絡アプリで報告したり、内容によって個別に伝えたりするほか、内科健診前に、保護者から得られた子どもの気になる事項や聞きたいことなどを踏まえ医師に相談し、その内容をフィードバックするなど、園を介して保護者との情報共有を図っている。日頃の子どもの健康状態は担任とともに看護師が把握しており、その日の体調変化やケガ等が生じた時には必要な対処やケアを行っている。</p> <p>保護者に、保健に関連するさまざまな情報を提供し、感染症等の予防にも努めている</p> <p>入園時に園生活での子どもの健康管理やケガ・体調不良等の対応などを説明している。保健便りでは年度当初に早寝早起きや朝ご飯などの生活リズムの大切さ、登園時の子どもの健康状態のチェックポイントなどを知らせている。また季節ごとの感染症の流行や家庭での対応、子どもへのケアなどのほか、園での水遊び時の熱中症対策やSIDSの留意点なども伝えている。園内で感染症が流行した際には、発生した感染症名と人数、主な症状や登園再開の目安などを掲示や連絡アプリにて保護者に知らせ、まん延防止に努めている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>日頃の会話とともに、子どもの様子や保育の内容・活動などを保護者に発信している</p> <p>お迎えの際には担任から子どもの様子を伝えたり、園長から声をかけるほか、別途時間を設け、担任や園長等が子育ての悩み等をじっくりと聞いたりするなど、保護者への寄り添いや配慮に努めている。また、日々の子どもの様子は連絡アプリや一日の様子の掲示などで伝えており、クラス保護者会では年間目標や一日の流れ、食事の方針や考え方などについて説明したり、職員と保護者との意見交換や、0歳児では離乳食の試食を行うなど、相互の理解を深めている。さらに今年度から写真を添えたクラスごとの「WB活動」の便りを作成し、保護者に発信している。</p> <p>保護者の育児や就労等に対して、さまざまな配慮と支援に努めている</p> <p>入園時及びその後の面談、連絡帳のやり取りや日頃の会話等を通じ、各家庭の就労や子育ての状況等を把握し、個々の配慮を行っている。保育時間をあらかじめ定めているが、15分単位での延長保育の利用が可能となっており、事前の申込があれば、夕食の提供もを行っている。各家庭の状況や急な残業などによる延長保育の受け入れに柔軟に対応するほか、連絡アプリによる保護者との連携や各便りの配信、希望制による紙オムツの定額制利用サービスの導入、食事用のエプロンや口拭き等の園での提供など、保護者の利便性の向上や負担軽減への配慮も行っている。</p> <p>行事参加を通じて、子どもの育ちを共有しながら、保護者同士の交流にもつながっている</p> <p>保護者が参加できる緑日・運動会・発表会は土曜日に実施しており、年間行事予定を年度当初に知らせ、日程の調整とともに、先の見通しが持てるような配慮をしている。各行事では保護者に子どもたちの様子を見てもらったり、一緒に楽しんだりするとともに、参加した保護者同士の交流にもつながっている。またクリスマス会や節分などの子どもたちで楽しむ会では、保護者有志の協力を得て、行事に参加してもらっている。クラス保護者会では、職員と保護者の自己紹介や意見交換などを行う時間があり、職員と保護者、保護者同士の懇談の場ともなっている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>身近な環境を活用しながら、子どもの日頃の体験や活動が充実するよう努めている</p> <p>戸外活動の際にはさまざまな公園を活用したり、消防署まで足を運び、消防車や救急車に乗せてもらったりするほか、旗の台駅の公園で電車を見たり、林試の森まで出かけて自然物を用いて遊んだりするなど、身近な環境を活用しながら、子どもたちの日頃の体験や活動がより充実するようにしている。また、品川区系列園の5歳児が集い、森の広場で一緒に遊んだりして、少し大きな集団での交流を図るほか、5歳児のお別れ遠足では公共交通機関を使用し、公共のマナーを知るとともに、いつもと違った場所での楽しい体験と仲間との思い出づくりとなっている。</p> <p>子どもが地域での買い物体験と、人とのやり取りを楽しんでいる</p> <p>地域の商店街や町会との連携を図っており、園の飾りや食育で使用するものなどを、子どもたちと一緒に買い物に出かけることがあり、クリスマスにちなんで玄関に置く花を探して購入したり、調理保育のためのサツマイモを購入するなど、日頃の活動との関連を持たせて取り組んでいる。また、近隣の大学の協力を得て、生物園に生息するさまざまなものを見る機会が得られている。その他、会社主催のサマーキャンプがあり、希望する5歳児が参加し、筑波山の自然豊かな中での体験を行っている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもたちの創造力を培う制作活動がさまざまに行われている	
内容①	制作活動は季節や行事をテーマに、さまざまな技法を体験したり、素材に触れたりできるように取り組んでおり、訪問調査当日には、スタンプを使った獅子舞や、絵筆を使っただるまの制作が飾られていた。また絵本から発想を得て活動を展開してゆく「ウイズブックプログラム」とつながりを持たせた制作活動も展開しており、「はっぱみつけた」という絵本から、散歩に出かけ、拾ってきた落ち葉を用いた制作活動に取り組んでいる。行事に向けた共同制作として、緑日の際のゲームに用いるものや発表会の劇で用いる大道具・小道具なども作っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	園の現状を確認し、さまざまな話し合いのもとで、見直しや改善の活動を進めている	
内容②	園の現状を確認し、見直しや改善の活動を進めている。食物アレルギーの具体的な園での対応や手順などをまとめたり、与薬の受け渡しの手順に漏れがないよう、様式の見直しを行っている。年度途中からリーダー会議を毎月開催し、水遊びの監視や対応、人数確認の方法の検討や、望ましくない言葉かけから適切な声かけへの促し、平日のシフトや合同の流れなど、運営に関する事項等をリーダー層で話し合い、改善へとつなげている。また保護者にウイズブック活動の内容を発信したいという提案を受け、「ウイズブックだより」の配信と掲示を開始している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No. 特に良いと思う点		
1	タイトル	オリジナル絵本「ウイズブック」を用いた活動による体験が、子どもたちの興味・関心を広げ、想像力や創造性を養っている
	内容	系列園共通のオリジナル絵本「ウイズブック」を用いた活動による体験を通じ、子どもの興味・関心の広がりを促し、想像力や創造性を養っている。毎月1冊の絵本をテーマに活動を展開し、毎日同じ本を読むことで、言葉や概念の獲得や、新たな気づきにつなげている。絵本を起点とする活動は、生活・表現・食育・保健など多岐にわたり、導入では子どもたちが自分で考え、想像できるよう、保育者が投げかけや問いかけを行い、実践後には体験したことを振り返り、次なる興味の広がりや遊びの展開を促しており、幼児には英語のプログラムも提供されている。
2	タイトル	子どもに食に関する知識を伝えながら、食事への意欲や関心を高め、感謝の気持ちを育む食育活動を行っている
	内容	食事に対する意欲や関心を高め、知識を伝えるほか、感謝の気持ちを育む食育活動を行っている。食育の年間計画は、子どもたちの発達の段階を踏まえ、年齢別にねらいを立てて策定し、各クラスの担当の栄養士と保育士が連携を図りながら進めており、月の「ウイズブック絵本」との関連も考慮して具体的な活動につなげている。栽培活動や調理保育に取り組み、買い物体験を実施するほか、季節の行事の際には行事食を提供して食文化を伝えている。また食べ物と身体の関係などの知識や、食材や作り手への感謝の気持ちの大切さについても伝えている。
3	タイトル	園と家庭との関係を深めつつ、それぞれに応じた寄り添いと、さまざまな配慮・支援に努めている
	内容	お迎えの際には担任から子どもの様子を伝えたり、園長から声をかけるほか、別途時間を設け、担任や園長等が子育ての悩み等をじっくりと聞いたりするなど、保護者への寄り添いやそれに合わせた個別の配慮に努めており、組織内で共有したうえで園全体の見守りを行っている。また延長保育への柔軟な対応、連絡アプリによる保護者との連携や各便りの配信、写真を活用した子どもの様子の共有などのほか、希望制による紙オムツの定額制利用サービスの導入、食事用のエプロンや口拭き等の園での提供など、保護者の利便性の向上や負担軽減への配慮も行っている。
No. さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	職員同士が理解や認識を共有しつつ仕事や保育に取り組む文化を組織に根づかせるべく、さらに啓発を続けられたい
	内容	職員自己評価では組織の同僚性について、集計値・自由意見とも課題が示されている。前回の評価受審時から継続して、組織の体制の流動が毎年度生じ、さまざまな面で、職員集団として共通認識を持ちつつ取り組む風土が定着しにくい状況がある。職員間の日常的なコミュニケーションの促進や、その際の言葉遣いの配慮などを、園長が折々に現場に啓発するとともに、個別の面談等による指導に努めており、現場にもそうした組織の環境を含め、改善していこうとする気運が見られつつあると考えている。それらの今後の進展と、組織の文化の定着に期待したい。
2	タイトル	組織としての成熟や、今後の経営継続に向けた地域との結びつきなど、園としての重要課題に計画的に取り組む体制の確立が期待される
	内容	上記とも関連し、「ウイズブックプログラム」をはじめ、先輩・後輩間の育成が日常的に行われる環境づくりや、その基盤となる現場の指導体制の確立も課題としている。また今後さらに厳しさを増す事業環境に対応し、地域に求められる園であり続けるために、情報発信や子育て支援等の取組を拡充させるとともに、小学校とも関係を深めていきたいと考えている。これらを目指す目標・状態とともに中・長期の計画に定め、現在はほぼ本社のひな形のままとなっている年度の事業計画にも反映させ、組織全体で取り組む体制を整えることが期待される。
3	タイトル	園としてのスタンダードの確立に向けた活動が始まっており、今後の進展と成果獲得につながることに期待が寄せられる
	内容	新型コロナウイルスの5類への移行や、リーダー会議の開催などの変化があり、各職員の意見や提案、保護者のニーズなどを踏まえ、さまざまな検討を重ね、新たな取組を開始したり、これまでの活動等を再開したりしている。年度末には職員の振り返りや意見交換などをしながら、全体の方向性等を整えるべく、今回の保護者のアンケートや職員の振り返り等を踏まえ、今後の園のスタンダードを職員と作り、共有していく活動を開始している。この活動のPDCAサイクルを重ねながら、その後の進展と成果獲得につながることに期待が寄せられる。